

〔第166回明専塾（地方公務員）〕

明専塾に参加して

建社H13 山口 秀和



明専塾について

はじめに

平成30年12月14日、戸畑キャンパスにおいて第166回明専塾が開催され、「地方公務員」という題目にて講演させていただきました。

地方公務員の仕事で土木職といっても幅広く道路、河川、公園、上下水道等、様々な業務があり、今回はその中でも下水道の維持管理という狭い範囲ですが、奥が深い分野の話を見せていただきました。下水道の中の点検や修繕、災害対応の話聞いて、学生のみなさんが地方公務員にはこういう仕事もあるのだと感じていただけたのであれば幸いです。

このようなセミナーに参加することは学生のみなさんだけでなく、私自身にとっても非常に有意義だったと感じております。明専塾の発表資料を作成することは、入職してから今までの自分の仕事を振りかえる良い機会となりましたし、講演会では北九州市役所の他の部署や福岡県庁に勤務されている講師の方々の貴重な話も聞け、大変勉強になりました。

懇親会では現役大学生の生の声を聞くことができ、真剣で熱意を持っている学生が多く、このような学生のみなさんと今後一緒に働いてみたいと感じました。

地方公務員の仕事

地方公務員の仕事はどの分野でも市民生活に密接に関連した仕事であり、私たちが行った事業は市民生活へ直接的な影響を与えます。非常に

責任が重いですが、それだけに自分たちが地域の事業を進めているということを実感することができ、事業が完了した後は、大きな達成感を得ることができます。また、私達が行った仕事に対して、市民からの反応が良くも悪くも直接的に伝わります。市民からのお叱りを受けることもあれば、逆に感謝の言葉をいただくこともあり、その時はこの仕事をやっていて良かったと感じる一番の瞬間です。

学生のみなさんへ

講演では他の講師の方々も含め、「土木についての基礎知識」や「人とのコミュニケーション力」をしつかり身につけることを伝えましたが、その他に「人から吸収できる力」を学生時代に身につけてほしいと思います。皆さんはこれから就職すると、新しい環境で仕事を覚えていかなければなりません。また、就職して数年すると異動があり、まったく経験のない部署に配属になることもあります。これらの場合、早く新しい環境に慣れ、仕事を覚えて職場の戦力にならなければなりません。そのた

めには、変に遠慮せず、先輩や、場合によっては後輩にも謙虚な気持ちで積極的に教わる必要があります。日頃からいろいろなことを学んで素直に吸収できる姿勢を学生時代から意識しておくことが、今後の自分の成長へと繋がっていきます。

おわりに

今回、明専塾に参加することで久々に母校に伺うことができ、学生時代にお世話になった教授や学生の皆さまと話をすることで、大変良い刺激になりました。特に私の所属していた研究室の学生との話では、研究についてまだ共通で話ができる内容があり、ざっくりばらんに話せて、非常に楽しい時間を過ごせました。

このようなすばらしい機会を与えていただいた明専会関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、これから九州工業大学の益々のご発展をお祈りいたします。

（北九州市役所）